

令和2年度 厚生労働科学研究費補助金 分担研究報告書

中小企業等における治療と仕事の両立支援の取り組み促進のための研究

中小企業のヘルスリテラシーの向上に寄与する映像コンテンツ作成

研究分担者 森 晃爾 産業医科大学 産業生態科学研究所 教授  
研究分担者 永田昌子 産業医科大学 産業生態科学研究所 学内講師

**研究要旨：**

本分担研究では、中小企業のヘルスリテラシーの向上に寄与する映像コンテンツを作成した。

両立支援の重要性が注目され、大企業など、両立支援に力を入れている企業も散見されるようになってきた。しかし、日本の労働者の約 55%が属している中小企業への浸透はまだ十分でない。経営体力の弱い中小企業にとっては目の前の資金繰りや業務をどうするかという視点になりがちで、企業のヘルスリテラシーが十分でなく医療機関との連携も不十分になりやすく労働者に負担をかけている現状がある。

また、中小企業の担当者に両立支援について聴取しても経験したことがないと回答するものがほとんどで両立支援のイメージがわきにくい現状があることが想定される。中小企業のヘルスリテラシーを向上させるためには、事例などを交えた説明資料が有用である可能性がある。

そこで本分担研究は、中小企業経営者向けに教育等で利用する事例などを交えた映像コンテンツを作成することを目的とした。今年度作成した映像コンテンツを、教育等も用い、両立支援について広く啓発するとともに、教育の評価を行っていく予定である。

研究協力者 原田 有理沙 産業医科大学 両立支援科学

**A. 目的**

両立支援の重要性が注目され、大企業など、両立支援に力を入れている企業も散見されるようになってきた。しかし、日本の労働者の約 55%が属している中小企業への浸透はまだ十分でない。経営体力の弱い中小企業にとっては目の前の資金繰りや業務をどうするかという視点になりがちで、企業のヘルスリテラシーが十分でなく医療機関との連携も不十分になりやすく労働者に負担を

かけている現状がある。

また、中小企業の担当者に両立支援について聴取しても経験したことがないと回答するものがほとんどで両立支援のイメージがわきにくい現状があることが想定される。中小企業のヘルスリテラシーを向上させるためには、事例などを交えた説明資料が有用である可能性がある。また、中小企業の特徴として「産業保健スタッフの関与が少ない」として「疾病診断および治療方針の決定」の際に

離職してしまう人がいることに着目し、以下の2点の課題を盛り込んだ事例の映像コンテンツを作成することとした。

1) 本人は告知後に動揺し情報が整理されていなかで、大事な決断をしてしまっている。

2) 職場(経営者)も本人に良かれと思って対応したことによって、結果的に退職を後押ししてしまう。

## B. 方法

研究分担者と研究協力者で協議し、映像コンテンツの対象者、目的、内容について協議した。複数回協議し、それをもとにシナリオを作成し、シナリオライターに校正を依頼し、さらに修正を加えシナリオを完成させた。

## C. 結果

対象者は中小企業経営者、目的は両立支援の事例を交えた両立支援の有用性を容易に理解してもらえることとした。映像コンテンツの用途として、①集合教育の導入映像、②HPでの一般向けに公開する映像とした。

シナリオを完成させ、(資料1)映像コンテンツを作成した。

## D. 考察

今年度作成した映像コンテンツを、教育等も使い、両立支援について広く啓発するとともに、教育の評価を行っていく

予定である。

## E. 引用・参考文献

なし

資料 1

[会社] 小規模製造業 ※イメージはドラマ陸王の工場



[登場人物]

従業員 加藤さん 事務職 55才

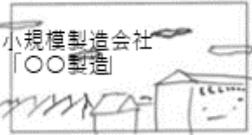


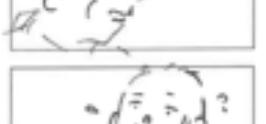
社長（自分） 60代

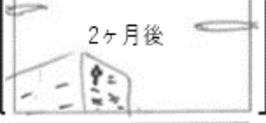


専務（奥さん）（60代）



visual	image	comment
<p>■ 製造業 会社の外観</p>	 <p>小規模製造会社 「〇〇製造」</p>	<p>ナレ： 大腸がんと診断された従業員Aさん</p>
<p>■ 社長室 悲壮感たどる表情で 専務職の加藤さん</p>	 <p>従業員 加藤〇〇さん53才</p>	<p>加藤：「社長、俺、大腸がんだって...。 ステージスリーだそうです。」</p>
<p>■ 驚く社長</p>	 <p>〇〇製造社長</p>	<p>社長：「え!？」</p>
<p>■ 加藤さんは泣きそうな 表情で</p>		<p>加藤：「治療に専念したいんで... 会社やめさせてください。」</p>
<p>■ 社長、少し俯き考える</p>		<p>吹き出し(社長心の声): ステージスリーか、悪いのかな、長くはないん だらうか。</p>
<p>■ 回想シーン 一所懸命に仕事をする 加藤さん</p>		<p>ナレ：これまで仕事を何より優先してきた Aさん。</p>
<p>■ 社長としてしっかりとした 意見を言う 正面を向く</p>		<p>社長：「分かった。長い間、お世話になったね。 退職金はすぐに出すから、 治療にあててくれ。」</p>
<p>■ 事務所にて 専務と話す社長 ■ 残念な表情の社長</p>		<p>ナレ：と...。事務所に帰って、専務の奥さんに 社長：「Aさんががんになったから、 仕事やめるって言ってきたわ。」</p>
<p>■ 驚く専務 ■ 二人で会話</p>	 <p>〇〇製造専務</p>	<p>専務：「え、大腸がん!? そう、がん。 ご家族心配していらっしゃるでしょうね、...」 社長： 「退職金を治療にあててくれって言ったわ。」</p>
<p>■ 残念な表情の専務 ■ しかし、何かを思い出す専務 テレビのイメージ (診断イメージ)</p>		<p>専務：「そー。そうよね、 でも、あなた この前テレビで、がんは治る人が増えて きたって。Aさんも治るわよ」</p>
<p>■ 社長と専務 テレビのイメージ (診断中/患者の悲しい表情)</p>		<p>社長：「でも、ステージスリーって言ってたぞ。 悪いんじゃないのか、..」</p>

visual	image	comment
■二人で会話		専務:「辞めるのはいつでもできるから、治療の目途がつくまで退職願預かってくのは？」 社長:「でも、お金、大丈夫かな？」
■専務、医療費についてテレビのイメージ(医療器具など)		専務:「普通の治療なら医療費の月額の上限は決まっているから大丈夫じゃないかしら。私たちがいくら話しても分からないわよ。本人に聞いてみましょう」
■街並みと空にナレ		ナレ:加藤さんに確認すると当面の医療費は心配ないとのこと。そこで、手術が終わって治療の目途がつく2か月後まで、休職することになりました。
■街・空テロップ(病院を感じさせる)		テロップ:2か月後
■事務所にて社長にお礼を言う加藤さん		加藤:「社長、おかげさまで、手術も無事終わって。抗がん剤の治療が始まっています。」
■社長もほっとした様子		社長:「抗がん剤か、。そうか。私からみると体調は悪くさなそうに見えるよ。」
■手をさすりながらも元気な加藤さん		加藤:「(はい、そうなんです。ちょっと手のしびれがありますが、その他は普通です)」
■社長の言葉		社長:「そうか、良かったね。最初がんで聞いたときはどうしたもんかと思ったけど」
■加藤さん少し焦った表情		加藤:「(はい、私もそうです。がんで聞いてから2週間ぐらいパニックになってました。)」
■納得する社長		社長:「うん、。」
■2ヶ月前の回想シーン加藤さんの正面の顔		加藤:「社長にあのとき、会社やめるのは後でも出来るからって言っていたら、少し冷静になりました」

visual	image	comment
<p>■二人で会話</p>		<p>専務:「辞めるのはいつでもできるから、治療の目途がつくまで退職願預かっとくのは？」 社長:「でも、お金、大丈夫かな？」</p>
<p>■専務、医療費についてテレビのイメージ(医療器具など)</p>		<p>専務:「普通の治療なら医療費の月額の上限は決まっているから大丈夫じゃないかしら。私たちがいくら話をしても分からないわよ。本人に聞いてみましょう」</p>
<p>■街並みと空にナレ</p>		<p>ナレ:加藤さんに確認すると当面の医療費は心配ないとのこと。そこで、手術が終わって治療の目途がつく2か月後まで、休職することになりました。</p>
<p>■街・空テロップ(病院を感じさせる)</p>		<p>テロップ:2か月後</p>
<p>■事務所にて社長にお礼を言う加藤さん</p>		<p>加藤:「社長、おかげさまで、手術も無事終わって。抗がん剤の治療が始まっています。」</p>
<p>■社長もほっとした様子</p>		<p>社長:「抗がん剤か、そうか。私からみると体調は悪くさなそうに見えるよ。」</p>
<p>■手をさすりながらも元気な加藤さん</p>		<p>加藤:「はい。そうなんです。ちょっと手のしびれがありますが、その他は普通です」</p>
<p>■社長の言葉</p>		<p>社長:「そうか、良かったね。最初がんって聞いたときはどうしたもんかと思っただけど」</p>
<p>■加藤さん少し焦った表情</p>		<p>加藤:「はい、私もそうです。がんって聞いてから2週間ぐらいパニックになってました。」</p>
<p>■納得する社長</p>		<p>社長:「うん、」</p>
<p>■2ヶ月前の回想シーン加藤さんの正面の顔</p>		<p>加藤:「社長にあのとき、会社やめるのは後でも出来るからって言っていたが、少し冷静になりました」</p>